

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 28 日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜県大垣市赤坂町3751

氏 名 上田石灰製造株式会社 代表取締役社長 上田和男

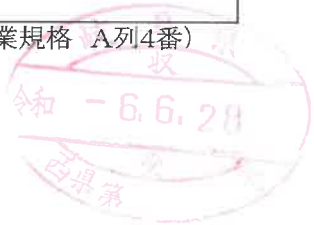
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 (0584) 71-1133

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

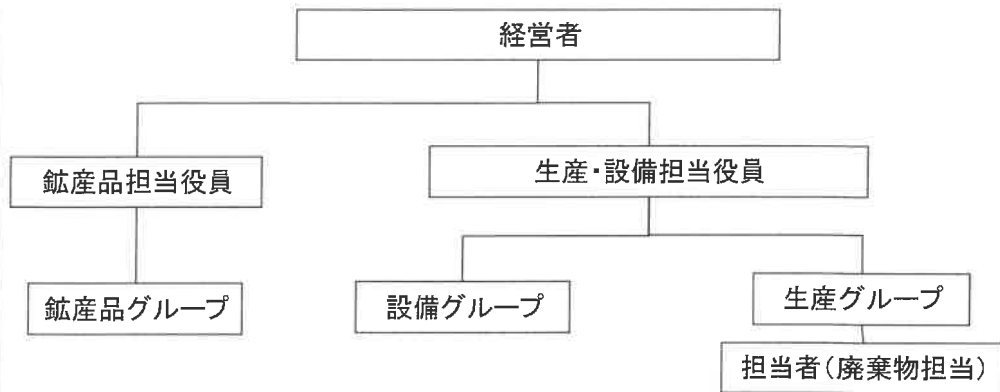
事業場の名称	上田石灰製造株式会社 昼飯工場
事業場の所在地	岐阜県大垣市昼飯町1290-1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	資本金 1億円
③ 従業員数	123人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(1) 汚泥→中間処理業者に委託後、再資源化及び埋め立て (2) 廃油→中間処理業者に委託後、再資源化及び埋め立て (3) 廃プラスチック類→中間処理業者に委託後、埋め立て (4) 木くず→中間処理業者に委託後、再資源化 (5) ガラスくず・陶磁器くず及びコンクリートくず →中間処理業者に委託後、埋め立て

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1. 汚泥に関しては、製品原料の使用効率向上による発生抑制 2. 廃プラスチック類に関しては、梱包材の再利用 3. 水の構内循環利用 4. 省エネ活動		
②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 改善活動の活発化による分別の徹底、歩留まり向上による廃棄物の削減 2. 製品原料の使用効率のさらなる向上 3. 環境マネジメントシステム認証取得に向けた取組による、全員の意識向上及び管理体制の強化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属回収ボックスを設置し、設備などから排出される金属くずについては有償譲渡をしている。 廃油を種類別に管理し、委託事業者での再生化がしやすいように協力している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類に関して、処理委託事業者の見直しを実施し、処理内容に合わせた分別及び再資源化率の向上を目指す。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】	別紙3のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（2023年度）実績】 単位：トン								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	燃え殻	合計
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	（これまでに実施した取組）								
	該当なし								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	燃え殻	合計
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	（今後実施する予定の取組）								
	該当なし								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（2020年度）実績】 単位：トン								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	燃え殻	合計
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	（これまでに実施した取組）								
	規格外品の処分は、埋立処分でなく再生利用業者への処理委託にまわしている。								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	燃え殻	合計
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	（今後実施する予定の取組）								
	規格外品の処分は、埋立処分でなく可能な範囲で再生利用業者への処理委託にまわす。								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（2023年度実績）		単位：トン					
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	燃え殻	合計
全処理委託量	693	82	210	35	0	3	1	1024
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	693	82	210	35	0	3	1	1024
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)								
規格外品の排出抑制及び再生利用業者への処理委託を行なっている。								
②計画	【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	燃え殻	合計
全処理委託量	620	74	189	30	0	3	0	916
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	620	74	189	30	0	3	0	916
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)								
規格外品の排出抑制及び再生利用業者への処理委託を行なっている。 分別の推進及び徹底、歩留まり向上による廃棄物の削減を行なう。								